

医 健 第 1922 号
令和 7 年 10 月 30 日

市内医療機関の皆様へ

横浜市保健所長
木村 博和

インフルエンザの市内流行注意報発令に伴う注意喚起について（依頼）

日頃から本市の感染症対策に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、第 43 週（10 月 20 日～10 月 26 日）の定点医療機関当たりの患者報告数が 11.07 となり、流行注意報発令基準(10.00)を超えたため、10 月 29 日に市内にインフルエンザの流行注意報を発令しました。

区別の流行状況では、7 区で定点医療機関あたりの患者報告数が流行注意報発令基準を超えています。

感染が広がる前に、施設への持ち込み防止策、発症者の早期把握及び感染拡大防止策の強化が重要です。

御多忙中のところ誠に恐縮ですが、各医療機関において感染対策をお願いいたします。

※令和 7 年 4 月 7 日から定点医療機関数に変更があったため、変更前に使用していた基準を参考としています。

<添付資料>

- （１）記者発表資料「インフルエンザ流行注意報発令中」
- （２）2025-2026 横浜市インフルエンザ流行情報（令和 7 年 10 月 30 日発行）

担 当：横浜市医療局健康安全課
電 話：671-2463 FAX：664-7296
E-mail：ir-kenkoukiki@city.yokohama.lg.jp

インフルエンザ流行注意報発令中

横浜市では、令和7年第43週（10月20日～10月26日）の全市集計において、インフルエンザ注意報発令基準（1定点医療機関※1 当たり1週間の患者報告数10.00人）を超え、「11.07」となりましたので、インフルエンザ流行注意報を発令しました。年齢別では、10歳未満の報告が全体の51.5%、15歳未満の報告が全体の79.1%となっています。

市民の皆さま一人ひとりが早めに予防策を取りましょう。

※1 定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告する医療機関（市内90か所）

令和7年4月7日から定点医療機関数に変更があったため、変更前に使用していた基準を参考としています。

市内定点当たりの患者報告数

年・週	期 間	患者報告数（人）（※2）	備考
令和7年第40週	9月29日～10月5日	2.89	
第41週	10月6日～10月12日	5.13	
第42週	10月13日～10月19日	5.44	
第43週	10月20日～10月26日	11.07	注意報

※2 患者報告数は医療機関からの追加報告により、数値が変動します。

【参考】横浜市感染症情報センターWeb ページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/idsc.html>



インフルエンザにかからない、うつさないためのポイント



インフルエンザにかかったかもしれないと思ったときは

- ☐ 人混みへの外出を控え、無理をせず十分に休養をとりましょう。
- ☐ 高熱が続く、呼吸が苦しい、意識状態がおかしいなど、具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。
- ☐ 乳幼児や高齢者、妊婦、免疫力の低下、基礎疾患のある方は特に重症化しやすいため、心配な場合は早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザの予防接種

- ☐ 重症化予防のため早めに予防接種を受けましょう。（高齢者インフルエンザ予防接種は10月から開始しています。）

【参考】厚生労働省 Web ページ 「インフルエンザ（総合ページ）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html



お問合せ先

（感染症対策全般について）医療局健康安全課長	竹澤 智湖	Tel 045-671-2442
（感染症発生動向について）衛生研究所感染症・疫学情報課長	横山 涼子	Tel 045-370-9279

横浜市インフルエンザ流行情報

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

流行注意報が発令されました

【第 43 週(10 月 20 日～10 月 26 日)の概況】

- ✓ 定点あたりの患者報告数※¹ は、横浜市全体で **11.07** となり、流行注意報の発令基準 10.00 を超えました。
- ✓ 年齢別では、15 歳未満の報告が全体の 79.1%を占めています。
- ✓ 学級閉鎖等は、小学校を中心に 47 施設、患者数は 625 人です。

☞ ワクチン接種、咳エチケット、手洗い、こまめな換気※² 等でインフルエンザを予防しましょう

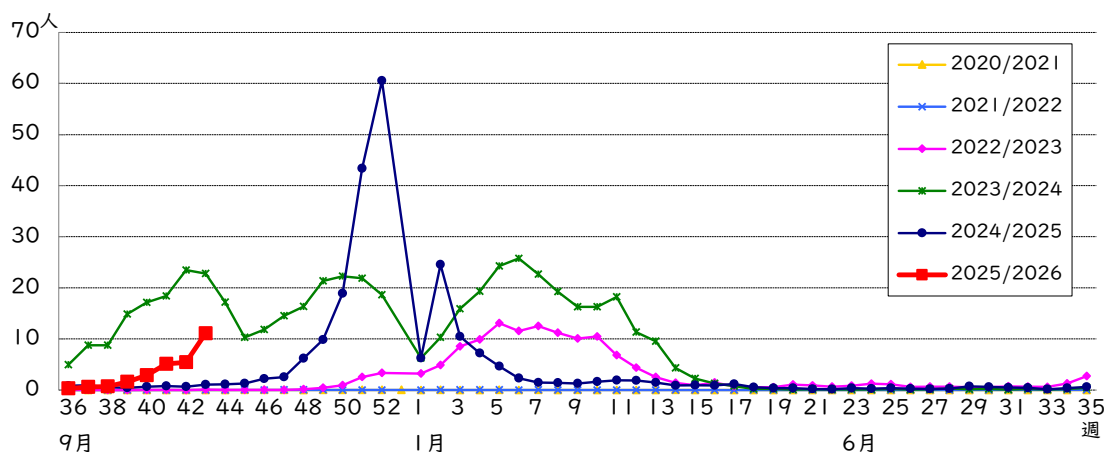


※¹ 定点あたりの患者報告数とは、1 週間に 1 回、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただく医療機関（市内 90 か所）から報告された患者数の平均値です。

※² 令和 6 年度インフルエンザ Q&A (厚生労働省) に、インフルエンザの予防方法等が掲載されています。

【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、9 月中旬以降、増加傾向が続き、9 月下旬(第 39 週)に 1.64 で流行期に入りました。第 43 週は 11.07 となり、流行注意報の発令基準(10.00)を上回りました。



【地図で表した直近 3 週間の区別流行状況】

(塗り分けの数字は定点あたり報告数)

【参考】

直近流行(2024/25 シーズン)の流行推移

流行の開始【定点あたり 1.00 以上】

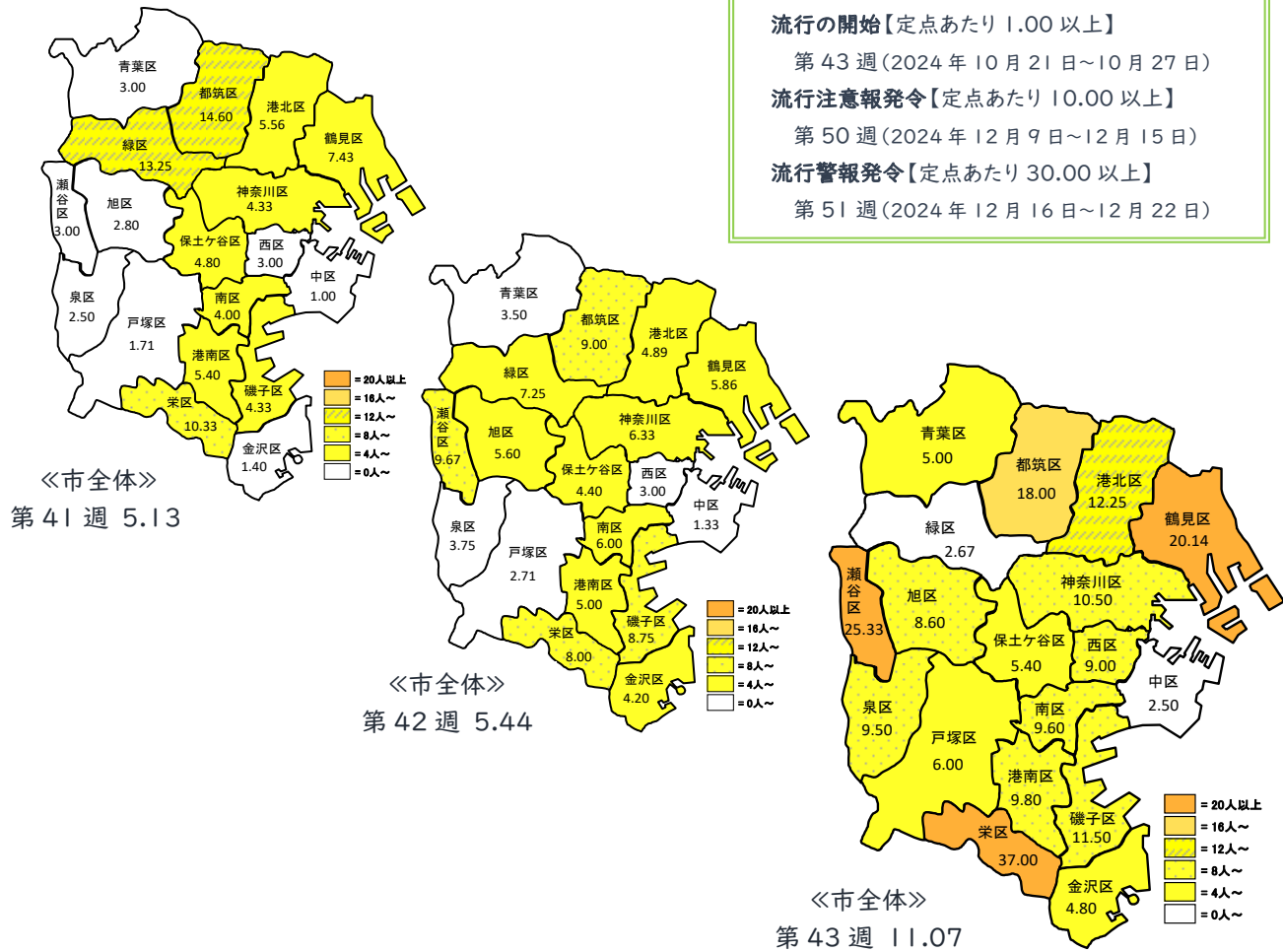
第 43 週(2024 年 10 月 21 日~10 月 27 日)

流行注意報発令【定点あたり 10.00 以上】

第 50 週(2024 年 12 月 9 日~12 月 15 日)

流行警報発令【定点あたり 30.00 以上】

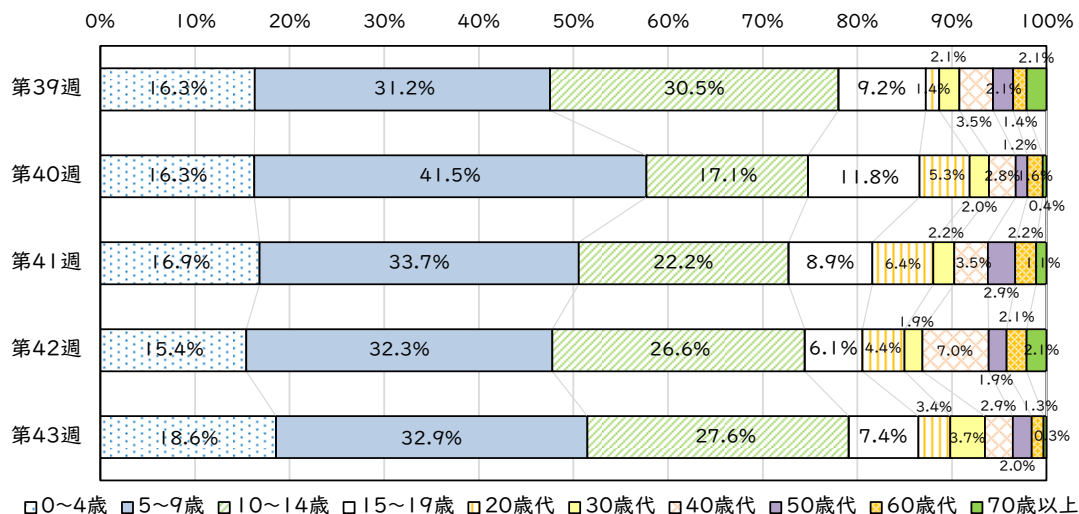
第 51 週(2024 年 12 月 16 日~12 月 22 日)



【年齢層別集計】

第 43 週の患者年齢構成は、10 歳未満が 51.5%、10 歳から 15 歳未満が 27.6%で、15 歳未満が全体の 79.1%を占めています。

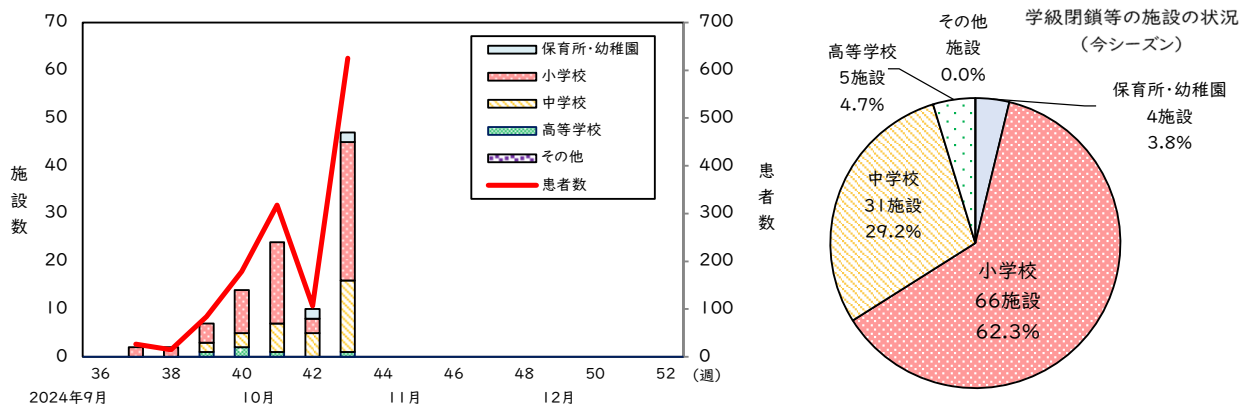
<年齢層別患者割合>



注) 小数点以下第 2 位を四捨五入するため、計と内訳の合計が一致しない場合や構成比の内訳の合計が 100%にならない場合があります。

【市内学級閉鎖等状況】

第43週は47施設（保育所・幼稚園2、小学校29、中学校15、高等学校1）から、625人の患者数の報告がありました。なお、今シーズンの累計は106施設、延べ1,355人の患者数が報告されており、施設毎の割合は、保育所・幼稚園3.8%、小学校62.3%、中学校29.2%、高等学校4.7%です。



* 参考リンク

近隣自治体の流行状況

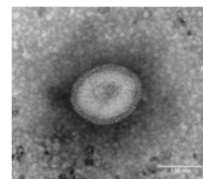
○ [神奈川県](#) ○ [川崎市](#) ○ [東京都](#)

全国の流行状況

○ [国立感染症研究所](#)

インフルエンザウイルスの
電子顕微鏡写真(6万倍)

撮影：
横浜市衛生研究所



最新の感染症情報はこちら



横浜メディカル
ダッシュボード



衛生研究所
Instagram

EIKEN_YOKOHAMA_OFFICIAL

【お問い合わせ先】

横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課

TEL 045(370)9237

横浜市医療局健康安全課

TEL 045(671)2463